

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校 (全日制)	校長名	山崎 裕子
------	----	-----	---------------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

「高きを求めて文武両道に励む」百年を超える歴史と「明るく朗らか」な校風を有する北遠の普通科拠点校として、挑戦・探究による「未来創造プロジェクト」などの「志」「学力」「豊かな人間性」を育む生きた教育を通して、自己と社会の未来を創造する「気概」「能力」「品德」を持ち合わせた、時代をリードし幅広く活躍する人材の育成を目指す。

2 スクール・ポリシー ～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ・ かがやく知性、細やかな感性、強い意思、たくましい体を有する「志を持った心豊かな人間」を育成します。
- ・ より良い未来を拓くため、自分の適性や特性を踏まえて主体的に行動し、社会に貢献できる人材を育成します。

(2) カリキュラム・ポリシー ～本校ではこのような学びを行います～

- ・ 生徒の多様な興味・関心を踏まえた幅広い教育課程のもと、主体的・対話的で深い学びを提供します。
- ・ 多様な生徒の進路実現に向けて、個に応じた丁寧で体系的な進路指導を実践します。
- ・ 未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）等を通じて、自己と社会を分析して未来を拓く思考力や行動力を育みます。
- ・ バラエティー豊かで充実した学校行事や部活動等を通じて、文武（＝文化）に親しむ資質を養います。

(3) アドミッション・ポリシー ～本校ではこのような生徒を求めています～

- ・ 本校入学後に自分のやりたいことを具体的に語り、実践することができる生徒を求めます。
- ・ 基本的な生活習慣と義務教育段階の基礎学力が身に付いており、高校生活でより高めようとする意欲のある生徒を求めます。
- ・ 自己と他者を大切にして、誠実に学校生活を送ろうと考えている生徒を求めます。

3 スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 学習指導要領に沿った授業実践と学習評価及び生徒の主体的な学習態度と進路決定意識の育成により、学力の向上と進路実現を図る。
- イ 本校の特色を活かした探究的な学びを組織的に検討し、具体的な実践プログラムを構築する。
- ウ 質の高い学校行事・特別活動・生徒会活動及び部活動等を展開して、生徒の文化に親しむ豊かな心を育む。
- エ 社会情勢に適合した生徒指導と安全・安心な教育環境の整備を实践し、生徒の自己肯定感、自立心及び社会性を育成する。
- オ 広報の充実及び地域での多様な取り組みを通じて、本校の教育活動を周知する。
- カ 教職員の組織力を高めるとともに各教育活動の合理化・効率化を図り、活力ある運営体制を確立する。

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の主体的な学習態度の育成による学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において、学習指導要領に沿った指導計画・単元目標を設定するとともに、評価方法・評価基準を明確化して授業を実践する。 一人一台端末の活用や協働学習の実践など生徒の主体的・対話的で深い学びにつながる授業を展開する。 ICT 活用が円滑に推進できる教育環境の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科における単元の目標や評価基準等が明確だと答える生徒 85%以上。 授業は分かりやすく、教え方に工夫があると答える生徒 85%以上。 授業で端末を十分に活用していると答える生徒 90%以上。 	教務課 進路課 研修課 情報・広報課 各教科 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> 到達度テスト、定期テスト及び模擬試験等の結果を活用し、生徒が伸ばすべき学力の具体化を図るとともに、学力向上につながる授業改善や課外授業の企画等に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 到達度テストにおける各教科の正解率 65%以上。 大学入学共通テストの各教科平均得点率 50%以上。 	
ア	生徒の主体的な進路決定意識の育成による進路実現	<ul style="list-style-type: none"> 「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」や「特別活動」等の充実を通じて、系統的なキャリア教育を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの目標に向けて、努力と挑戦を継続していると答える生徒 85%以上。 第3学年6月までに「未来創造企画書」が完成している生徒 100%。 	探究推進室 教務課 生徒課 進路課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な進路決定につながる資料等を教職員で共有し、生徒に対して適時性の高い情報提供及び個別指導を随時実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路に関する情報提供・指導助言は適切であると答える生徒 80%以上、保護者 70%以上。 	
イ	探究的な学びの組織的な検討、及び具体的な実践プログラムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動推進室を新設し、教育課程の改訂を前提に「総合的な探究の時間」等の実践プログラムを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動実践プログラムの策定。 	探究推進室 教務課 進路課 研修課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> 県や外部団体の事業等の活用を検討し、探究活動の充実を図る。 探究活動の理解を深める教職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題発見力及び課題解決能力を高めることができたと答える生徒 85%以上。 	
ウ	質の高い教育活動の展開による生徒の文化に親しむ豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に企画・運営する学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等を通じてリーダーの育成を図る。 委員会による新聞を活用した様々な啓発活動を実践する。 浜北特別支援学校との交流や保育体験実習等を通じて共生・共育の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいると答える生徒・保護者 90%以上。 	教務課 生徒課 図書課 各学年 各部活動 NIE実践委
		<ul style="list-style-type: none"> 読書推進に係る啓発活動の充実により、生徒の読書量を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 1か月に1冊以上本を読む生徒の割合 70%以上。 学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数 4.0以上。 	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> ・学業との両立を意識し、質と量のバランスの取れた活動の中で、最大限の力を発揮する部活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・東海大会出場6部活動以上。 ・校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動100%。 	
エ	社会情勢に適合した生徒指導と安全・安心な教育環境整備を通じた生徒の自己肯定感、自立心及び社会性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「校則」に基づき、生徒の人権に配慮した支援・指導を実践する。 ・モラルを高める指導を年間を通じて継続し、生徒の規範意識を育成する。 ・検診等を通じて生徒の健康状態を把握し、必要な指導を行う。 ・困難や悩み・不安を抱える生徒の支援に対し、校内外の連携を密にした相談体制等の構築を図る。 ・清掃等を通じて校内の整備状況を把握し、課題個所については速やかに改善を図る。 ・防災訓練等の充実により、生徒の危機管理意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を心掛けたり、身だしなみに心を配ったりするなど社会のマナーを意識して学校生活を送っていると答える生徒及び保護者95%以上。 ・受診が必要な生徒の治療率85%以上。 ・校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒80%以上。 ・学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生徒・保護者85%以上。 ・地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒・保護者80%以上。 	総務課 生徒課 保健相談課 事務部
オ	広報の充実及び地域等での取り組みを通じた教育活動の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校案内」など各種広報ツールの充実を図り、本校の教育活動を周知する。 ・一日体験入学や学校公開の充実、教職員による学校訪問等を通じて、中学生及び中学校に対して本校の教育活動を周知する。 ・生徒会や部活動等の校外活動を通じて、本校の教育活動を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒目線を取り入れた「学校紹介動画」の作成。 ・ホームページの毎日更新。 ・体験入学や広報誌等が高校選びの参考になったと答える来校者95%以上。 ・校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動100%。（再掲） 	管理職 総務課 教務課 生徒課 情報・広報課 運営委員
カ	教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による活力ある運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担軽減につながる合理的で効率的な教育課程を検討する。 ・学年・分掌会議等を定期的に行い、所属教職員による業務進捗状況の把握と業務の効率化を推進する。 ・各分掌及び学年で業務を見直し、非効率・非合理的な業務は改善・縮減する。 ・県教委の施策と連動した事務業務の効率化を徹底し、事務職員の校務運営への参画を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から実施する教育課程改訂案の策定。 ・各分掌（事務部含む）及び各学年による業務改善・縮減1件以上。 ・校務運営に具体的に参画したと答える事務職員100%。 	管理職 各分掌 各学年 各教科 各事務部